



河野 有香さん

PROFILE

かわの ゆか
教育学部2年
岡山県：岡山朝日高校出身

香川大学を意識した理由の一つは、高校で所属していた剣道部の先輩が香川大学に進学したことでした。先輩は厳しいけどためになる指導をしてくださる方で、「先輩のようになれば」と憧れていました。また、香川大学教育学部は文・理・実技で受験でき、どの選抜方法で合格した場合でも入学後の頑張り次第で好きなコースを選べるということも魅力でした。香川は岡山と似たところがあって、自転車で色々な所へ行くことができます。近くに大きな商店街もあって、歩くのが楽しいですよ。

入学後にいいな、と思ったのは、学生同士の仲の良さや、先輩の面倒見の良さです。入学前に「新入生の集い」というものがあり、その時にお世話をしてくださった先輩が時間割や大学についての相談に応じてくださいました。時間割は必要単位などの計算が大変なので、すごく助かりました。

2年になると専門的な授業も増えてきて忙しくなりますが、興味を持った講義を選べているので授業はとても楽しいです。色々なことにどんどん挑戦できるのが大学生のいいところなので、「面白そう」と思ったことは幅広くやってみることをおすすめします。講義

だけでなく、学生生活やサークル活動も同じで、私は剣道部に所属していますが、1年るとき「キャンパスライフを考えよう」という授業で先輩方のプレゼンを聞き、学生支援サークルのMINTs(ミントス)にも参加するようになりました。ミントスは新入生のサポートやイベントの企画運営など、充実した学生生活を送れるようなサポートをする組織で、私は学生が気軽に交流できるカフェ: Career Cafe部門をお手伝いしています。剣道でも団体戦などで「チームのために」頑張ることはありますが、MINTsでは「学生みんなのために」がんばることができるので、剣道とは一味違う新鮮な経験ができます。

香川大学は人との繋がりがしっかりあって、「みんなで動いている」というイメージがあるので独りという感じがしません。

大学は何でも挑戦しやすいところです。何でもすぐに決めてしまわずに、興味を持ったものにどんどん手を出してのがおすすめです！サークルに参加したり様々なジャンルの授業をとることで友達の幅も広がりますし、県外だけでなく外国の友達もできて楽しいですよ。

大学や進路を考えるとき、まるで恋に落ちるみたいに「ひとめぼれ」で決めちゃったりしていませんか？
もちろんそんな出会いも大切。
でも、相手のいいところや自分との相性を理解して、心から納得できる進路を選ぶ。
それがあなたの人生にとっていちばん大事なことでないかと、香川大学は思っています。
香川大学は変化しています。
たぶん、あなたが思っているよりもずっと。
夏や秋のオープンキャンパスで、実際に香川大学を見て、感じてみてください。
先輩や先生と話してみてください。
志望校を決めるのはそれからでも遅くない。
だって大切なあなたの人生です。
だって大切なあなたの人生です。
自分の目で見て考えて
香川大学を選んでくれた、
3人のもと高校生をご紹介します。
あなたの進路の参考になれば嬉しいです。



いま高校生のあなたへ、 もと高校生からの伝言。



坂本 あすなさん

PROFILE

さかもと あすな
医学部2年
香川県：高松高校出身

もともとは獣医を志望していたのですが、大学選びの時「自分が本当にやりたい事は何か」「卒業後、どんな職につくのか」ということを考えながら調べているうちに、その思いは「人と関わりたい」というものになり、医師という選択肢を考えるようになりました。

といってもすぐに切り換えられるものではありません、目標の変更はかなり悩みました。自分の周囲には医療関係者がいないため、「医学部に行きたい」と口に出すこと自体にも恐れやためらいがありました。

しかし先輩の話や、オープンキャンパスで救命救急センターの方が仕事に誇りとやりがいを持って働いている姿を見たときに、迷っていた気持ちが「恐れや責任を持ったままでもいいから、やってみよう」と前向きに変わったんです。オープンキャンパスはぜひ行くといいですよ！一番気になる受験のことも聞けますし、大学の「空気」がつかめるので「ここに来たい！」という目標も明確になります。

医学部の学生は勉強ばかりしていると

思われるかもしれませんが、ほとんどの学生は部活に入っていて、中には夜遅くまで体育館で活動している人もいます。私は硬式テニスと兼部で国際交流会にも入りましたが、この交流会では、海外の医学部への留学や海外の医学部生の受け入れを、中心となって行っています。香川大学は、ブルネイやイギリス、カナダなど多くの交流協定校があり、金銭面での援助もある留学プログラムが充実しているので、私も学部生の間に留学してみたいと考えています。

医学部では様々な経験ができます。1年の夏に、県庁の方にお世話していただいて僻地医療・訪問診療体験をしたのですが、医療にもいろんな形があるのだと勉強になりました。今は2年生なので「これをやる」と固定せずに、柔軟にいろんなものを見て、もっと勉強が進んだら進路を考えていきたいと思っています。手厚い研修医制度もありますし、はっきり決めてはいませんが、香川で働ければ…というのが今の希望です。



平野 千晶さん

PROFILE

ひらの ちあき
法学部3年
香川県：高松桜井高校出身

もともと香川は地元で、「県内で進学してほしい」という家族の希望もあって香川大学を志望しました。

法学部を選んだのは親戚のお姉ちゃんが弁護士をしていて、仕事の話から興味を持ったのがきっかけです。法学部の授業は他の学部と違って口頭で進むものが多く、ついていくのは大変ですが「勉強しかできない」ということはなく、私もハンドボール部との両立を頑張っています。

私は、1年、2年のときは自宅通学だったので部活のある日は夜10時くらいまで練習をして、それから1時間かけて帰宅していました。でも、さすがに通いが遠くて3年になってから一人暮らしを始めました。自炊など大変なこともあります。学校により近くなったことでさらに活動はしやすくなりました。

学生同士の交流に関しては学生サークルが頑張っているほか、去年あたりから入学後に法学部全体の顔合わせの場が設けられるようになり、さらに大学になじみやすくなっているようです。その他にも体育などの一般

教養で他の学部の学生と仲良くなる機会もありますし、もちろん部活をしたりサークルに入れればさらに友達の輪は広がりますよ！

私自身は今、大学院進学か就職か進路を考えているところですが、先生はそれぞれの進路のメリット・デメリットも率直に教えてくださいるので、自分ひとりでは考えられなかった視点が得られてとても参考になっています。大学選びは「やりたいこと」を第一に考え、大学院や周辺施設の存在など、「やりたいこと」がやりやすい環境が整っている大学はどこかと考えるようにすると選びやすいのではないのでしょうか。

香川大学法学部のある高松市は裁判所、検察庁、刑務所などの施設がそれぞれ近い場所にあり、そこに見学に行くことで、実際に授業で学んだことが実務上どのように使われているか自分の目でたしかめることができます。このような恵まれた立地も、香川大学ならではの魅力だと思います。